

市長施政方針



美祢市長
村田 弘司

平成27年第1回美祢市議会定例会の開会に当たり、平成27年度の施政方針を申し述べ、議員の皆様をはじめ、市民の皆様方に御理解と御協力を賜りたく、お願い申し上げます。

昨年5月に、元総務大臣の増田寛也氏を座長として有識者で構成される民間研究機関の日本創成会議・人口減少問題検討分科会が「消滅自治体リスト」を公表しました。これによりますと、約1,800の市区町村のうち、若年女性が2040年までに半数以下に減少する都市は896と約半数にのぼり、同分科会はこれらの都市を「消滅可能性都市」とし、地方、とりわけ中山間地域や離島など条件不利地域にある市町村に危機感を抱かせました。

また、安倍首相は、先の施政方針演説の中で、農協改革や農業委員会制度の抜本的改革をはじめとする農政の大改革や社会保障改革など、「戦後以来の大改革」に踏み出すとされていますことから、市政や市民の皆様方の生活への影響が懸念されるところであります。

加えまして、平成27年度から、合併に伴います地方交付税の優遇措置が段階的に縮小するなど、本市を取り巻く環境は非常に厳しく、決して楽観視できない状況にあります。

私は、このような本市の現状を冷静に受け止め、美しく誇りのある美祢市を次世代に引き継いでいくため、自らの責任と判断により引き続き美祢市の舵取りを着実にやっていく決意であります。

平成27年度は、市民の皆様方とともに作り上げた「第1次美祢市総合計画後期基本計画」に加え、観光振興計画、第2次行政改革大綱、さらに、子ども・子育て支援事業計画など各分野の主要な計画がスタートする重要な年であります。総合計画の後期基本計画では、5つの基本目標である「安全・安心の確保」「観光交流の促進」「産業の振興」「ひとの育成」そして「行財政運営の強化」の実現に向けた諸施策・諸事業を前期に引き続き着実に実施することとし、特に「国際交流の推進」「六次産業の創出」「ジオパーク活動の推進」の3つの重点プロジェクトをトリプルエンジンと位置付け、これらを相互にリンクさせ、新たな取り組みであります、「定住促進プロジェクト」につなげていくことで、定住人口の増加を目指して参ります。また、漫画・アニメーションを活用して、わかりやすさに、楽しさや面白さを加えた魅力的な情報発信を行うことにより、重点プロジェクトを強力に推進して参りたいと考えております。

○新たな重点プロジェクト ～定住促進プロジェクト～

国においては、我が国が直面する地方創生・人口減少克服という構造的課題に正面から取り組むため、日本全体の人口の将来展望を示す「長期ビジョン」とそれを踏まえた5か年の「総合戦略」を策定しました。総合戦略では、地方における様々な政策による効果を集約し、人口減少の歯止め、東京一極集中の是正を着実に進めていくことを掲げています。本市においても、地方版総合戦略の策定を進めるとともに、子育てしやすい環境の充実と独自の定住施策により、定住人口の増加を図ります。

- ・美祢版総合戦略の策定
- ・住宅購入者に対する助成
- ・地域おこしの担い手となる、都市部の人材の確保
- ・国・県の制度を上回る県内トップクラスの保育料軽減制度
- ・美祢さくら公園への大型遊具の設置
- ・子育て支援ホームページの開設
- ・認定こども園に対する助成
- ・綾木児童クラブ、総合支援学級児童クラブの新設

○安全・安心の確保

老若男女、健常者と障害者が互いに支えあい、共に生きる高福祉のまちづくりを進め、安心して住み続けられる、安全で活気のあるまちづくりを目指します。

- ・「美祢市子ども・子育て支援事業計画」の確実な推進
- ・「いきいき健康みね21」（健康増進計画）の改訂
- ・2つの市立病院の安定的経営に向けた費用の繰出し
- ・生活困窮者に対する自立支援事業の実施
- ・JR美祢線、路線バス、アンモナイト号の利用促進に向けた取り組み
- ・東厚保町植柳地区でのミニバス運行（新規路線）
- ・上下水道事業管理者の設置
- ・美東簡易水道の硬度低減化（施設整備）
- ・秋芳簡易水道の硬度低減化（基本設計及び変更認可申請の手続）
- ・消防施設及び装備の充実
- ・消防職員及び団員の資質及び技術向上
- ・「全国健康福祉祭(ねんりんピック)」ソフトボール競技の実施

○観光交流の促進

秋吉台・秋芳洞、長登銅山、金麗社、大岩郷など多くの魅力ある観光資源を有する本市では、新年度から新たにスタートする「観光振興計画」に基づき、「観光立市をめざす・おもてなしのまち」を基本理念とし、来訪者に感動を与える美祢ブランドを提供することで、さらなる交流人口の拡大に努めます。

- ・観光プロモーション活動の展開
- ・組織と体制づくりに向けた美祢市観光協会に対する支援
- ・観光エリアWi-Fi（ワイファイ）整備及びAR整備
- ・リフレッシュパーク内のトロン温泉施設改修
- ・秋芳洞エレベーターの改修
- ・大岩郷周辺整備、秋芳名水ふれあい広場トイレ改修
- ・サイクリングロード整備やコースの調査検討
- ・近隣市と連携した交通アクセスの確保対策の実施
- ・「大田絵堂戦役150年」を迎え、維新をテーマとする情報発信
- ・「美祢ランタンナイトフェスティバル」の拡大支援
- ・台湾南投縣及び水里郷との交流推進（市内中学生の訪問など）
- ・その他の近隣諸国との交流推進

○産業の振興

本市の特色や可能性を活かした産業の振興に取り組み、地域経済の活性化を図ります。

- ・美祢市工場立地法地域準則条例の活用による企業誘致促進
- ・企業誘致活動の強化
- ・美祢市商工会や市内中小企業等に対する各種支援
- ・商店街活力アップ支援事業、美祢あきない活性化応援事業、中小企業融資事業による商店街と事業の活性化
- ・プレミアム付き商品券発行事業
- ・自立した消費者の育成
- ・地域ブランド「ミネコレクション」制度の充実
- ・ミネコレクション認定商品の国内外へのPR、販路拡大
- ・「人・農地プラン」や農地中間管理機構等の活用
- ・新規就農者支援策、生産者の初期投資の軽減策、農地の流動化促進策による担い手の確保・育成と耕作放棄地の解消
- ・総合整備事業の推進による集落組織への支援
- ・イノシシ・シカなどの有害鳥獣の捕獲・防護

○ひとの育成

まちづくりはひとづくりであり、教育環境の充実と人財育成に積極的に取り組みます。

- ・日本ジオパークネットワーク正会員への加盟申請
- ・楽しくわかりやすいジオパーク活動の継続
- ・教師の指導力向上に向けた取り組み（美祢市授業づくりアドバイザーによるセミナーの開催）
- ・「MINEグローバル人財育成事業」の創設
- ・外国青年英語指導の充実
- ・学校施設の耐震対策の推進
- ・小・中学校の再編統合の推進
- ・秋芳中学校の開校に向けた準備
- ・秋芳中学校プールの整備
- ・秋芳テニスコートの整備
- ・県立総合支援学校美祢分教室の通学支援
- ・「第23回世界スカウトジャンボリー」における世界各国のスカウト、約1,200人との交流

○行財政運営の強化

平成27年度は、第2次行政改革大綱がスタートする年度になります。この大綱に基づき、持続可能で安定的な行財政運営を行うため、「協働のまちづくり」と「成果重視の行政経営」を基本理念とし、更なる行政改革を推進します。

- ・市民及び来庁者満足度向上のための取り組み（来庁者アンケート及び専門家による外部評価）
- ・社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）開始に伴う円滑な運用と徹底した情報管理
- ・公共施設の再編・整備（山口大学との官学連携による公共施設の利用実態調査及び利用団体等とのワークショップ）
- ・地域や団体の自主的なまちづくり活動やジオパーク活動に対する支援

以上、重点プロジェクト及び総合計画の施策体系に沿って、主な取り組みを申し述べましたが、平成27年度は、美祢市総合計画・後期計画が始まる重要な年であり、これまでの、国際交流の推進、六次産業の創出、ジオパーク活動の推進のトリプルエンジンをさらに加速させ、新規プロジェクトである「定住促進」に繋げ、美祢市が持つ可能性に向かってまい進して参りたいと考えております。

新美祢市誕生以降、7年間、市民の皆様や議会の御理解、御協力もあり、市の貯金である基金は大幅に増加し、逆に、市の借金である市債は、順調に減ってきております。

しかしながら、本市財政は依然として厳しい状況下であります。先程も、申し述べましたが、平成27年度は、普通地方交付税の合併算定替効果が逡減し、5年後には、その効果が全て失われる初年度であります。平成27年度を境に、今後、普通地方交付税は大幅に少なくなってまいります。

だからこそ逆に、平成27年度を「美祢市再生元年」といたしたいと思っております。今こそ強い意志をもって、市民の方が夢・希望・誇りを持ってお暮らしできる交流拠点都市 美祢市の実現に向けて、「ふるさと美祢」を愛する皆様と一緒に、全力を傾注して取り組んで参ろうではありませんか。

議員各位並びに市民の皆様の、より一層の御支援、御協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。平成27年度の施政方針といたします。